

授業科目名	公衆衛生看護Ⅲ			担当教員	緒方 文子、西村 和美、 上野 満里	
開講年次	4 年前期	セメスター	7	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	選択	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	地域保健活動が円滑に展開できるためのマネジメント機能と方法を学び、関係者と連携・協働して地域づくりを行い、ケアシステムを構築する方法について学習する。					
到達目標	1. 公衆衛生看護管理の目的及びその機能を理解できる。 2. 行政における保健福祉計画の策定プロセスが理解できる。 3. 行政における健康危機管理が理解できる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	公衆衛生看護学関連科目では最終段階にあり、実習を前に公衆衛生看護管理活動における「問題解決力」や「看護の専門性を探究する力」を高める。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
			○	◎	○	
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)		取組時間	担当者
1	公衆衛生看護管理の諸相 事業・業務管理, 予算管理	講義	復習：公衆衛生看護Ⅰ・Ⅱにて学修したことを復習する。		30 分	緒方
2	保健福祉計画策定と予算 ・地方公共団体における保健福祉対策	講義	教科書の「保健福祉計画の策定と予算」を読んで授業に参加する（予習）。		30 分	緒方
3	事業目標・事業計画の策定 プロセス	講義	教科書の「事業計画と保健師の役割」 「保健福祉計画の策定と予算」を読んで授業に参加する（予習）。		30 分	緒方
4	地域ケアシステムづくり	講義 (GW)	教科書の「地域ケアシステムづくり」 を読んで授業に参加する（予習）。		30 分	緒方 西村 上野
5	健康危機管理	講義 (GW)	教科書の「健康危機管理」を読んで 授業に参加する（予習）。		30 分	緒方 西村 上野
6	健康危機管理	講義 (GW)	指定する課題を実施する（復習）。		30 分	緒方 西村 上野
7	健康危機管理	講義 (GW) (発表)	指定する課題を実施する（復習）。		30 分	緒方 西村 上野
8	公衆衛生看護管理 課題のフィードバック	講義	指定する課題を実施する（復習）。		30 分	緒方

先行履修科目	地域看護Ⅰ，地域看護Ⅱ
テキスト	村嶋幸代 編：最新保健学講座 2 公衆衛生看護支援技術，メヂカルフレンド社，2015. 平野かよ子 編：最新保健学講座 5 公衆衛生看護管理論，メヂカルフレンド社，2017. 厚生統計協会 編：厚生指標増刊 国民衛生の動向 2018/2019，厚生統計協会出版，2018.
参考文献	井伊久美子他 編：新版 保健師業務要覧 第3版，日本看護協会出版会，2013. 佐伯和子 責任編：公衆衛生看護学テキスト 2 公衆衛生看護技術，医歯薬出版，2014. 中村裕美子 他：標準保健師講座 公衆衛生看護技術 第3版，医学書院，2016. 宮坂忠夫他 編：最新保健学講座〈別巻1〉健康教育論，メヂカルフレンド社，2013.
評価方法	定期試験（50％），課題（40％），参加状況（10％）
教員等の実務経験	保健師の臨床経験のある教員が、公衆衛生看護管理について講義を担当します。
メッセージ	